



祝 辞

中川区長 増田 達雄

20歳(ハタチ)というひとつの節目を迎えられた皆さん、本日は誠におめでとうございませう。子どもの頃の仲間たちとこうして久しぶりに集まることができ、さらには一緒にお祝いを分かち合える喜びは、ひとしおのことと察します。中川区役所としても心からお慶びを申し上げます。

皆さんが育ってきた中川区には、「前田利家公」や「円空」などの歴史的足跡、いくつもの川と水辺が創る街並み、地域で長年引き継がれてきた伝統的なお祭りなど多くの魅力スポットがあります。皆さんは、これからそれぞれの道を歩んでいきます。その道のりとともに、こうした地域の宝も大切に思い、次の世代に繋いでいって欲しいと思います。

また、中川区には、地域の方々による子どもたちへの見守り活動が深く根付いています。自分の事だけを考えていたら見守り活動はとうの昔に潰えていますし、きょう、こうして皆さんが集まることもできなかったかもしれません。

誰かのために行動した人がいて、その思いを過去から今に繋げた人がいて、そうした繋がりが皆さんのまちや伝統、今日この場所を作っています。

「ハタチ」になった皆さんは、これからの未来を自分で創っていくことができます。朝、出会った人に挨拶をしてみる、地元の行事に参加してみる、どんな小さなことでも構いません。地域の皆さんと一緒に誰かのために行動してみてください。その一歩が、皆さん自身の未来や区の未来に繋がっていきます。

さて、本日の式典を主催していただいた地域の皆様。コロナ禍が収束しない中、本日の会の準備運営には、大変ご苦勞されたことと存じます。本当にありがとうございます。

皆様方が暑い日も寒い日も雨や雪でも、日々子どもたちに声をかけ、見守ってきていただいたおかげにより、今年も多くの若者たちが「ハタチ」を迎えることができました。心から感謝申し上げます。

「ハタチ」の皆さん、こうして節目を迎えられたのは、地域の皆様や恩師、そしてなによりもご家族の支えがあったからこそです。きょうの節目の日に今一度支えてくれた方々を思いおこし、感謝の気持ちを感じていただけたら幸いです。

最後に、皆さんの輝かしい前途を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。